

## ◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- インフルエンザの定点あたり報告数は25.81となり、前週の39.81から減少しました。しかしながら、まだしばらくは流行が続きます。咳エチケット、手洗い、うがい等の感染予防対策を徹底してください。
- 侵袭性肺炎球菌感染症の報告が1例(60歳代女性)ありました。症状は頭痛・発熱・咳・全身倦怠感・肺炎・菌血症・痰で、感染地域は国内、感染経路は飛沫・飛沫核感染です。本年の累積報告数は14例となりました。

京都市では、「高齢者肺炎球菌ワクチン」を定期予防接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLを御参照ください。

○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について(健康安全課ホームページ)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

- 梅毒の報告が3例(20歳代男性2例及び30歳代女性1例)(第5週・第6週追加報告分含む)ありました。本年の累積報告数は10例となりました。

## ◆ 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

京都市では、厚生労働省のエイズ動向委員会の発表に合わせて、毎年四半期ごとのAIDS患者・HIV感染者数を公表しています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類:結核 6例(肺結核 2例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 1例  
【1月以降の累積報告数 39例(肺結核 17例, その他結核8例, 潜在性結核感染者 14例)うち喀痰塗抹陽性 8例】
- 五類:侵袭性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 14例】
- 五類:梅毒 3例【1月以降の累積報告数 10例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

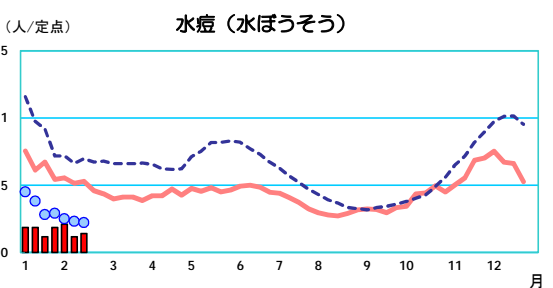
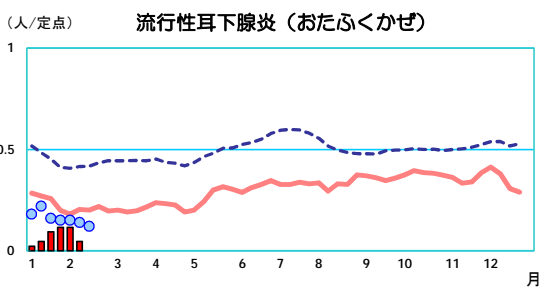
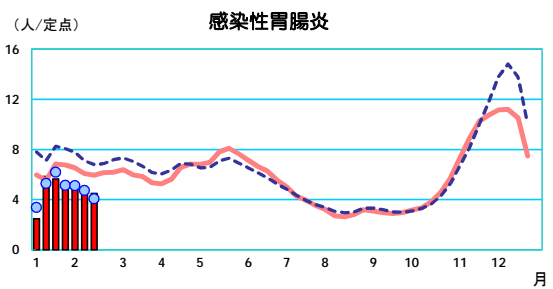
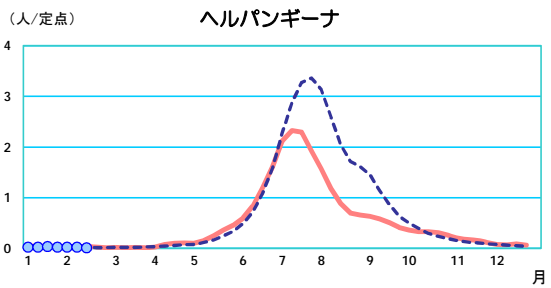
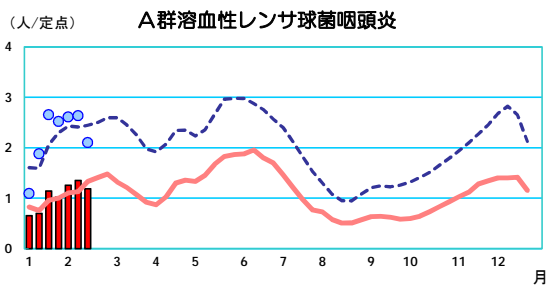
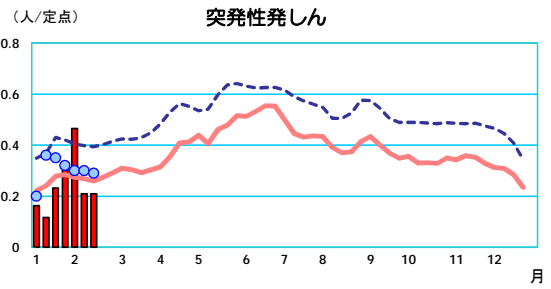
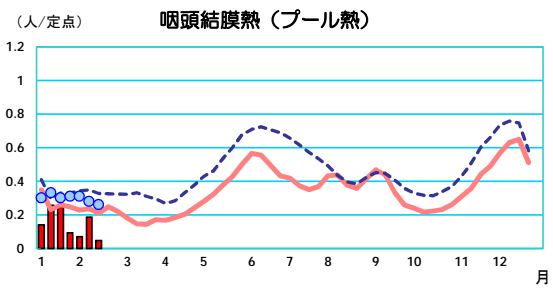
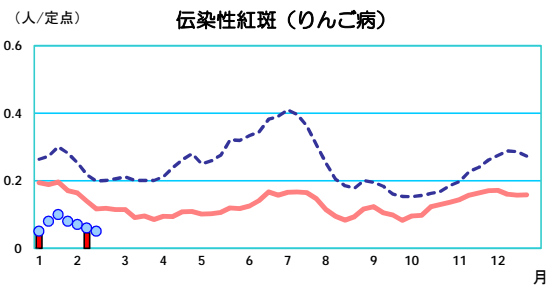
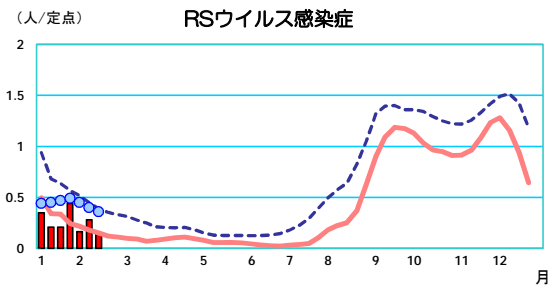
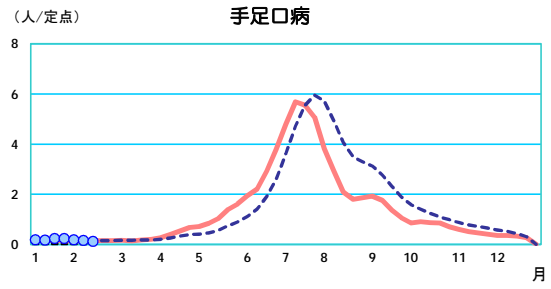
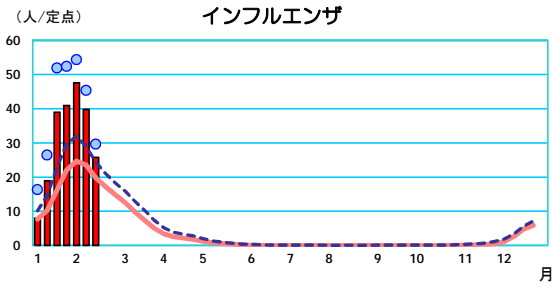
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	25.81	1,781
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.49	193
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.19	51
	③ 突発性発しん	0.21	9
	④ RSウイルス感染症	0.14	6
	④ 水痘	0.14	6
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成30年2月21日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。  
\* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



## 第7週(2月12日～2月18日)トピックス: <後天性免疫不全症候群>

京都市では、厚生労働省のエイズ動向委員会の発表に合わせて、毎年四半期ごとのAIDS患者・HIV感染者数を公表しています。本市では、平成29年10月から12月までの間、AIDS患者\* 2例、HIV感染者\*\* 3例の計5例の報告がありました。(平成30年2月21日公表 下記URL参照)

昭和62年以降の累積報告数は321例(AIDS患者 107例(33.3%), HIV感染者214例(66.7%))となっています(表1)。推定感染経路では、性行為感染が247例で、全体の76.9%を占めています(図1)。特に、同性間の性行為感染が143例と最も多く、全体の44.5%を占めています。診断時の年齢階級別では、20歳代～30歳代の若年層が約6割を占めています(図2)。

京都市では、各保健センターで実施していた昼間検査を、平成29年4月から、利便性が高く、利用者の多い下京区役所に集約化し、週4回実施するとともに、夜間検査を月2回から毎週実施、医療機関で委託実施している土曜検査を月2回から、土日検査として月4回に増やしました。さらに、これまで昼間検査のみで実施していた性感染症検査を夜間・土日検査でも実施するなど検査の充実を図りました。早期発見により感染の拡大防止に結びつくことから、HIV抗体検査・相談の機会を積極的に御利用ください。

\* AIDS患者 :AIDSと診断されて発生が届けられたもの(すでにHIV感染者として報告されているものがAIDSを発症する等病状に変化を生じた場合は除く。)

\*\* HIV感染者 :HIVに感染し、無症候性キャリアとして報告されたもの、または何らかの症状はあるがAIDSの診断基準を満たさないもの

【エイズ患者・HIV(エイズウイルス)感染者数について(京都市広報資料)】

○[http://www.city.kyoto.lg.jp/menu3/category/36-1-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html](http://www.city.kyoto.lg.jp/menu3/category/36-1-0-0-0-0-0-0-0-0.html)

【京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変えました。)】

○<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

表1 年次別報告数の推移(京都市)

報告年	総数	AIDS患者	HIV感染者	男	女
昭和62年～平成24年	238	78	160	220	18
平成25年	19	5	14	18	1
平成26年	15	4	11	12	3
平成27年	14	6	8	14	0
平成28年	16	5	11	16	0
平成29年	19	9	10	18	1
(再掲 10月～12月)	(5)	(2)	(3)	(5)	(0)
総計	321	107	214	298	23

図1 京都市の推定感染経路別の報告割合(昭和62年～平成29年)

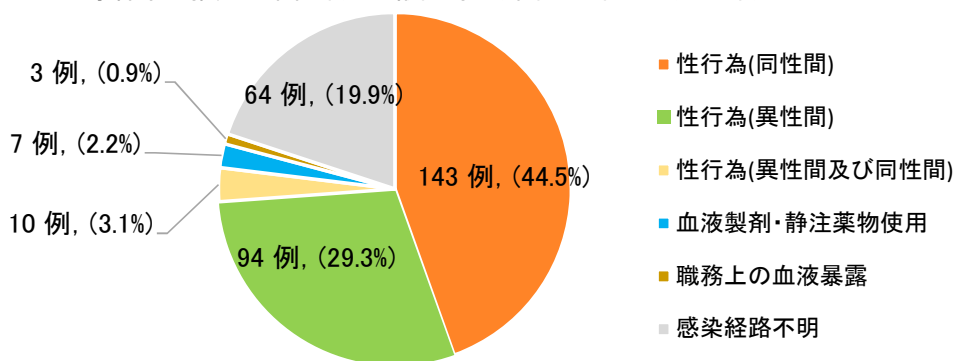
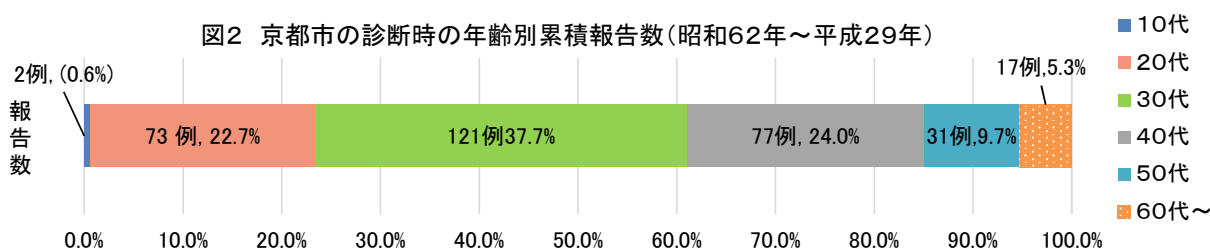


図2 京都市の診断時の年齢別累積報告数(昭和62年～平成29年)



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第7週

疾病,行政区別報告数

平成30年2月12日～平成30年2月18日

データ入手日:平成30年2月21日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	111	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	102	-	-	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	189	-	-	12	62	-	-	-	2	-	-	-	-						
中京	82	1	-	7	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	58	-	-	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-						
山科	169	3	-	1	1	1	-	-	2	-	-	-	-						
下京	31	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	246	-	-	-	19	1	-	-	1	-	-	-	-						
右京	231	-	-	9	20	2	-	-	1	-	-	-	1						
伏見	344	2	2	12	40	-	-	-	1	-	-	-	-						
西京	218	-	-	3	23	2	-	-	2	-	-	-	-						
京都市計	1,781	6	2	51	193	6	1	-	9	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点点あたり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	15.86	-	-	0.25	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	20.40	-	-	1.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	27.00	-	-	3.00	15.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-						
中京	16.40	0.33	-	2.33	2.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	19.33	-	-	-	8.00	-	0.50	-	-	-	-	-	-						
山科	24.14	0.60	-	0.20	0.20	0.20	-	-	0.40	-	-	-	-						
下京	10.33	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	49.20	-	-	-	6.33	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-						
右京	28.88	-	-	1.80	4.00	0.40	-	-	0.20	-	-	-	1.00						
伏見	31.27	0.29	0.29	1.71	5.71	-	-	-	0.14	-	-	-	-						
西京	27.25	-	-	0.60	4.60	0.40	-	-	0.40	-	-	-	-						
京都市計	25.81	0.14	0.05	1.19	4.49	0.14	0.02	-	0.21	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第7週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年2月12日～平成30年2月18日

データ入手日:平成30年2月21日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ ※1	年齢1	1,781	2	12	66	88	78	120	112	121	90	88	79	252	118	81	95	119	89	70	45	56	
RSウイルス感染症	年齢3	6	1	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		51	-	-	7	2	2	6	4	9	4	4	9	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		193	-	16	27	18	10	13	10	12	6	5	10	18	8	40	-	-	-	-	-	-	-
水痘		6	-	1	-	-	-	-	-	1	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		9	-	3	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎			1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 ※2		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 ※3	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 ※4	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ ※1	年齢1	25.81	0.03	0.17	0.96	1.28	1.13	1.74	1.62	1.75	1.30	1.28	1.14	3.65	1.71	1.17	1.38	1.72	1.29	1.01	0.65	0.81
RSウイルス感染症	年齢3	0.14	0.02	0.07	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.05	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.19	-	-	0.16	0.05	0.05	0.14	0.09	0.21	0.09	0.09	0.21	0.02	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		4.49	-	0.37	0.63	0.42	0.23	0.30	0.23	0.28	0.14	0.12	0.23	0.42	0.19	0.93	-	-	-	-	-	-
水痘		0.14	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.21	-	0.07	0.09	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎			0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 ※2		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 ※3	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 ※4	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第7週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年2月21日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	1,304	2,688	2,827	3,287	2,747	1,781
RSウイルス感染症	9	9	19	7	12	6
咽頭結膜熱	11	11	4	3	8	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30	49	44	54	58	51
感染性胃腸炎	251	242	220	229	209	193
水痘	8	5	8	9	5	6
手足口病	1	6	10	3	4	1
伝染性紅斑	-	-	-	-	2	-
突発性発しん	5	10	14	20	9	9
ヘルパンギーナ	1	-	2	-	1	-
流行性耳下腺炎	2	4	5	5	2	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	5	3	5	6	1
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	1,624	3,029	3,156	3,622	3,063	2,050

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	18.90	38.96	40.97	47.64	39.81	25.81
RSウイルス感染症	0.21	0.21	0.44	0.16	0.28	0.14
咽頭結膜熱	0.26	0.26	0.09	0.07	0.19	0.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.70	1.14	1.02	1.26	1.35	1.19
感染性胃腸炎	5.84	5.63	5.12	5.33	4.86	4.49
水痘	0.19	0.12	0.19	0.21	0.12	0.14
手足口病	0.02	0.14	0.23	0.07	0.09	0.02
伝染性紅斑	-	-	-	-	0.05	-
突発性発しん	0.12	0.23	0.33	0.47	0.21	0.21
ヘルパンギーナ	0.02	-	0.05	-	0.02	-
流行性耳下腺炎	0.05	0.09	0.12	0.12	0.05	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.50	0.30	0.50	0.60	0.10
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	26.49	47.27	48.85	55.81	47.62	32.14

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。